

令和3年度銚田地域農村女性大学第1回講座を開催しました

7月21日（水）、「コロナ終息後に向けていま考えたいこと」というテーマで、銚田地域農村女性大学第1回講座を開催し、銚田市から4名、鹿嶋市から1名の女性農業者が参加しました。

講座開催前の受講対象者の個別巡回時に「コロナのことを考えると、大人数での集合研修に参加するのは不安がある」という意見が聞かれたことから、今回の講座は受講生をいばらき農業アカデミー女性農業経営者育成講座の修了生に絞り、少人数で開催することとしました。

講座では、各自がアカデミー受講時に作成した経営ビジョンを振り返りながら、「コロナ下で、経営にどのような影響が出ているか」「その影響に対して、どのように対処しているか」「コロナの影響は、あと何年続くと思うか」などを話し合いました。その後、普及センターが作成した「ビジョンワークシート」を用いて、5年後、10年後の経営の方向性を書き出し、一人ずつ発表を行いました。

受講者同士が顔見知りであったことも手伝い、終始和やかな雰囲気の中で活発に意見交換が行われ、今後の経営発展を考えるよい機会とすることができました。

普及センターでは、8月4日（水）に、「外国人実習生との円滑なコミュニケーションの取り方」をテーマとした第2回講座を予定しており、引き続き女性農業者の資質向上に向けて支援を行っていきます。

銚田地域農業改良普及センター（担い手）

